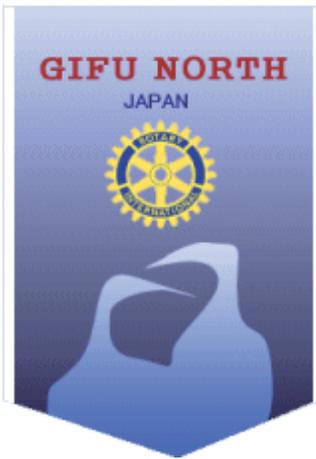


# 岐阜北週報



9月

新世代のための月間

<input type="checkbox"/> 題 字	岡田 忍	<input type="checkbox"/> 会 長	岡田 忍	
<input type="checkbox"/> 例 会	毎週水曜	<input type="checkbox"/> 副会長	波多野光裕	2010-2011
<input type="checkbox"/> 会 場	岐阜都ホテル	<input type="checkbox"/> 幹 事	谷田 育子	No.1368
		会報委員長	長野 鉄司	10.9.1 発行

## 前回の記録

第 1367 回例会 8/25 (水)  
クラブアッセンブリー (4)  
I・A 年次大会報告  
担当：インターアクト委員会

## 本日の予定

第 1368 回例会 9/1 (水)  
慶祝行事  
クラブフォーラム (3)  
担当：青少年育成委員会

## 次回の予定

第 1369 回例会 9/8 (水)  
クラブフォーラム (4)  
担当：社会奉仕委員会

## 会長挨拶 【岡田 忍 会長】

皆さんこんにちは。

今年の立秋は8月7日でした。暦の上では、もうすでに秋風が吹き過ぎやすい季節の筈ですが、まだ35℃を超える猛暑日が続いております。体調には十分お気を付け下さい。

本日は、岐阜城北高校のインターアクト部の顧問の先生と生徒さんをお招きしております。後ほど、年次大会・韓国訪問の報告をしていただきます。宜しくお願いいたします。又、先日の若松学園のキャンプに参加されました、片桐委員長はじめ会員の皆様お忙しい中ご苦労様でした。

今回も話のネタは新聞から引用してまいりました。今回は作家の馳星周さんのエッセイからです。皆様の中にも、ご家庭で犬を飼っている方もいらっしゃるかと思いますが、作者も大の犬好きだそうです。彼がある犬舎に遊びに行った時のことです。「ソーラ」という生後4～5ヶ月の雌犬が他の犬たちと離れて寂しそうにしていたそうです。4、5ヶ月の犬といえば、お転婆盛りのはずです。他の子犬たちと離れて、1頭で佇んでいる姿に彼の父性、保護欲は著しく掻きたたれ、彼はその犬を引き取らせてもらいました。

「あれから3年、あの時の寂しそうな姿は何だったんだと首をかしげることが多々ある。ソーラはともフレンドリーな性格で、どこでも他の犬や人間とすぐに仲良くなり、幸せそうに微笑んでいる。しかし、おまえ、あの時は全然そんな素振りを見せなかったじゃないか。寂しそうだっただじゃないか。そんな性格だなんておくびにも出さなかったじゃないか。

## 会長挨拶続き

お前なら、犬舎でも立派にやっていけたらうに。笑われるのを承知で書こう。ソーラは私を騙したのだ。この人なら、私をもっと幸せにしてくれる。そう確信して私の性格を逆手に取り、私を罠にはめたのだ。そうでも考えなければ納得がいかない。「馳さんの所へ行って、本来の性格を取り戻したのですよ」犬舎の人はそう言ってくれるが、あまりの豹変ぶりではないか。人間だろうが、犬であろうが、女とはなんと恐ろしい生き物であるのか。しかし私は怒っているわけではない。それどころか”騙してくれて有難う”と語りかけているくらいだ。わたしはソーラが好きだ。笑顔が好きだ。女の子らしい仕種が好きだ。大きなお尻が好きだ。騙されたとしても、かまいはしない。ああ、親馬鹿丸出した。」という文章です。

これは相手が犬だから、こんな優しい締め括りになると思いますが。男性会員の皆さん、世間には綺麗な蝶々がたくさん飛んでいます。二本足の妖怪も多く住んでいます。皆さんの優しい心と懐を狙って、あなたの父性、保護欲、優しい性格を逆手に取って罠に編めようとしているかもしれませぬ。暑さでボケて、後悔しないよう十分にお気を付け下さい。

## 出席報告

会員数：36名  
出席数：32/36  
出席率：88.89%  
欠席者：4名（出席免除2名 94.44%）  
来訪者：岐阜城北インターアクト部  
森嶋由紀子先生、高井梓帆さん、和田紋侑さん、藤澤春香さん、田垣早紀さん

## ニコニコBOX

陰田正男・河村訓陸・岡田忍・長野鉄司：  
県立城北高校の森嶋先生と韓国交流派遣学生高井・田垣2名の生徒さんと第33回インターアクト年次大会に参加の藤澤・和田2名の生徒さん、本日の活動報告を宜しくお願いします。

片桐順一郎：

若松学園キャンプ参加ありがとうございました。

早川悟史：

若松学園キャンプに参加し、とてもよい経験をさせていただきありがとうございました。

高橋政彦：

昨日誕生日でした。ありがとうございました。

## 報告事項

## ○青少年育成委員会 岡田一二三

9月5日(日)メモリアルセンターで、恒例となりました岐阜北ロータリーカップバレーボール大会が開催されます。岐阜市長さんも臨席され、8時45分から開会式が催されますので出席して下さい。当ロータリークラブのホームページが、サーバー更新のため9月1日から9月8日までの予定で閲覧できなくなります。週報は作成して例会に持ってきます。

## ○親睦交流委員会 安藤武司

氷見ロータリークラブ訪問に多数の参加の意向を頂いておりますが、まだ席に余裕がありますので、次回の例会までに参加される方は、お知らせ下さい。参加費用の2万円次回例会で徴収します。

## ○IGM報告 岡田忍

8月20日(金)に都ホテルにて相宮さんと他6名でRIテーマと地区メッセージについて、ロータリーの魅力と会員増強をテーマにIGMを行いました。今年度のテーマは大きくつかみきれないという意見が出ましたが、ロータリーの本質は変わらないので従来の活動を続けていこうと話合いました。ただ、テーマを実践するには各クラブにおいて長期の計画を基に、単年度の行動を実践していく必要があるのではとなりました。

会員増強については、最近ロータリーの魅力が少なくなっているが、執行部がその役割を認識し実践していないのではとの指摘がありました。その例として、副会長はクラブ奉仕委員長であり各委員会に参加すべきであるとか、各委員会の行事も前年度の例を踏襲しているだけのような事例があるように思われる。会員の勧誘に際して年間の費用を聞かれるが、昨今の経済情勢では40万円程を負担に思われることも多く、収入が減る中では支出を抑える方策も考えていかなければならず、収入を増やすには会員を増やすしかないと話合いました。

## 報告事項

## ○IM実行委員会 波多野光裕

IMにおいて支出した費用がまだ精算されていない方は速やかに連絡して下さい。

## ○インターアクト委員会 陰田正男

締め切り直前ではありましたが、城北高校から韓国に2名の生徒さんを派遣していただきました。亀山でインターアクトの年次大会があり、こちらは13名参加していただきました。本日は森嶋さんと4名の生徒さんから報告をお願いします。



\* 各自報告は別紙に記載します。

次回例会のご案内  
第1369回 9月8日(水)  
クラブフォーラム(4)  
担当：社会奉仕委員会

会報・広報8月担当 西垣康紀

こんにちは

岐阜城北高等学校 インターアクト部 顧問 森嶋由紀子と申します。

平素より本学の教育理念にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、先ほど陰田様よりお話をいただいたとおり、今年度も年次大会に13名参加させていただきました。また、締め切り間際になって皆様には大変お手数とご迷惑をおかけいたしました。2名の生徒が韓国派遣への許可をいただきました。誠にありがとうございます。

韓国へ派遣された2人の生徒は、事前のオリエンテーションについても「この前はこんなことをやった」「韓国語の発音を教えて貰った」「踊りを練習した」ととても嬉々として報告してくれました。また、韓国でもさまざまな経験をして大変良い刺激を受けてきたようです。これも皆様方のお陰だと大変感謝しております。

年次大会で他校インターアクト部員と交流する中で、生徒たちはいろいろなことを学ぶ機会をいただいたようです。亀山高校の地域貢献活動や益田清風高校の古着支援活動の様子を聞いて、「自分達もこんな活動してみたい」、「あんなこともできるんだ」と感じてくれたようで大変嬉しく思っております。

昨今の若者たちは、ともすれば地元志向が強く、内向きだと言われております。平成20年度の法務省の報告にも、海外へ出国者する人の数が減り続けているとありました。現在進路指導部にいて、私も生徒や保護者の地元志向の強さを肌で感じております。どんなに能力があっても外に出て行こうとしない、地元だけで過ごしてしまうという傾向を少し寂しく感じているところです。

その中であって、皆様のご尽力で本校の生徒たちに今回のように外へ出て良い経験をさせて頂く機会をいただき誠に感謝しております。生徒たちは今回の経験を通して、新たに色々なことをしてみたいと考えているようです。未熟な面もありますので、皆様にはご協力やご支援をいただくこともあるかもしれませんが、そのような時にはどうぞご指導の程よろしく願いいたします。

本日は、誠にありがとうございました。

#### 韓国派遣に参加して

岐阜城北高等学校 3年生 高井梓帆

私は、7月の27日～30日までインターアクト部として韓国派遣に行かせていただきました。活動1日目は歓迎パーティーとホームステイとの対面でした。韓国に到着してパーティー会場に向かう途中のバスの中で初めてホームステイ先の人を覚えてもらいました。名前は、キム・ピョンジェという男の子の家でした。名前しか分からないから会うまで本当に緊張していたし不安なことも沢山ありました。パーティー会場に着くと丸いテーブルが沢山あり各テーブルごとに韓国の方が4人ずつぐらい座っていました。テーブルには名前の書いたプレートが置いてあり、自分の名前を探しているとホームステイ先の人がびっくりするほどの笑顔で手を振って待っていてくれました。私は、その笑顔が本当に嬉しくて緊張が少しほぐれました。パーティーでは自己紹介や写真撮影の後、ご飯を食べました。ご飯は、バイキング式で今まで見たこともない料理が沢山ならんでいました。どの料理も辛そうで最初は食べるのを少しためらったけど1回、口に入れるとすごく美味しくてびっくりしました。もう1つ驚いた事は、韓国の男の人は皆すごく優しいです。食べ物を持ってきてくれたり、水がなくな

るとすぐに水を持ってきてくれたりと本当によく気がつくな。と思いました。パーティーが終わったら各ホームステイ先の家に行きました。

2日目は韓国のインターアクト部の年次大会に参加しました。この日は1番大変だったけど1番楽しかった日です。大会では、ダンスや歌など様々なパフォーマンスを各インターアクト部で披露していきました。私たちは、日本のインターアクト部代表としてダンスを発表しました。しかし、韓国の人たちの発表を見て私は、私たちのダンスが恥ずかしくなりました。韓国の人たちの発表はすごく元気で、きれいで、素晴らしいの1言でした。その会場では沢山の友達ができ韓国の歌について話したり日本の文化を教えたりと最高に楽しい時間を過ごしました。大会はまだまだ続き、次は外に出てキャンプファイアーをしました。私は、少し疲れていて座っていたけど韓国の人たちはずっと元気で火の周りで飛んだり踊ったりしていました。私が思っていた以上に皆、元気でパワフルな韓国人には驚かされてばかりでした。

3日目はホームステイ先の方が色々な所に連れて行ってくださいました。韓国の昭和村のようなところに行き歴史や昔の生活を知りとても勉強になりました。韓国の昔は日本とあまり変わりません。でも食べ物は少し違ってキムチはすごく昔からあり種類も沢山あるという事がわかりました。夜は、イチョンという所にある公園に行きました。皆でゲームをしたり写真を撮ったりしました。ここでの思い出は絶対に忘れたくないです。

4日目は、ソウルのロッテワールドに行きました。これは日本人と少しの韓国人で行き6つの班に別れて各班に1人韓国の子が入りました。私たちの班はウンジュという子で日本語がとても上手で日本のドラマや歌を沢山知っていました。私はそれに比べて韓国語も解らないし歌も知らないと思ってもっと勉強しないといけないと感じました。夜はホームステイの方とソウルタワーに行きました。ソウルタワーの上から見た夜景はものすごく綺麗で今でも目に焼きついています。今まで私にとって韓国とは日本に1番近い国、キムチが有名という印象しかありませんでした。しかし、この研修でもっと韓国について勉強すべきだと思いました。私は教科書で韓国併合というのを習い、昔多くの朝鮮人や韓国人が日本に連れて来られた事を知りました。今でも日本にいる韓国人などはその時に無理やり連れてこられた人や、その子孫だそうです。このような事もあり韓国人は日本人の事を心の何処かでは嫌っていると聞きました。しかし、この研修で教科書が全て正しいとは言えないのではないかな。と思いました。私の出会う人は皆、すごく優しく私を日本人としてではなく1人の人間として接してくれました。ホームステイ先の方は私が韓国語が解らない時は英語で一生懸命、説明してくださいました。韓国にいる間、私に出来るだけ多くのものを見せたいと言って様々な所に連れて行ってくださいました。私は今までにないぐらい楽しい経験を沢山させてもらいました。本当に感謝したいです。

戦争をしたらこのような人たちとも敵同士になってしまいます。そんなの絶対に嫌だし遭ってはならない事だと思います。だから、私たちのように若いうちに海外へ行き多くものを見て実際に経験することが大切なんだと改めて感じました。私はこの研修に参加させていただいて、もっと韓国の事やアジア全体の事を知りたいと思いましたし韓国の人が大好きになりました。

最後にこのような素晴らしい機会を与えてくださったロータリークラブの皆様、先生方に感謝したいです。

## 韓国派遣に参加して

岐阜城北高等学校 3年生 田垣早紀

私は、7月27日から31日までの5日間、派遣学生として日本のお隣の国、韓国へ行かせていただきました。7月27日の9時に中部国際空港に集合して、12時に名古屋を出発し、いよいよ韓国に向かいます。韓国の空港に着いた瞬間、キムチの匂いがしてびっくりしました。2時に空港を後にしてバスに乗りました。バスの中では韓国のロータリーの方の話を聞きました。そしてバスの中で自分たちの、ホームステイ先の方の名前を教えてくださいました。私のホームステイ先の方は男の子で、ジュンスと言う名前です。その事を聞いた時、とても不安になりました。話す言葉が違うのはもちろんのこと、性別も違うから仲良くなれるかどうか、どうしようと思いました。そしてバスが止まりホームステイ先の方々が待っている所に向かいました。そこでは、私達のために歓迎会を開いていただきました。私達が会場に着いた瞬間、とても大きな拍手をさせていただいてとても感動しました。そして自分のネームプレートのある席に座りました。私の隣の席には、ホームステイ先の男の子、ジュンスが座っていました。挨拶はしたものの、それから何を話したらいいか分からなくて、緊張感でいっぱいでした。でも時間が経っていくに、ジュンスから話しかけてくれて、とても嬉しかったです。それがきっかけで少し緊張がなくなっていきました。皆でご飯を食べて、ジュンスのお母さんに挨拶をして6時30分に各自ホームステイ先に連れて行ってもらいました。そして歓迎会をもらった会場から1時間くらいかけてジュンスの家族が住んでいる家に向かいました。

インターホンを押して出てきたのは、ジュンスの妹さんでした。私は韓国語で自己紹介をしました。妹さんは、ずっと笑顔で本当に可愛かったです。ジュンスのお父さんは、いつも帰りが遅いみたいなのでこの日は会うことが出来ませんでした。私が使う部屋に案内をしてもらってお風呂に入り、1日目は12時くらいに寝ました。

2日目はインターアクト年次大会に参加するというので、一泊分の服を持ってクラブの方が乗っているバスで会場に向かいました。会場に着くとすごい数の人が集まっています。そしてインターアクトのTシャツに着替えて、会場には皆が集まって会長の方々の挨拶があり、年次大会が始まりました。私が年次大会でとてもびっくりしたことは、学生の皆さんの盛り上がりにとってもびっくりしました。年次大会のプログラムの1つにパフォーマンスがあります。私達、日本の学生は皆が会う日にちが決まっています、その少ない日にちの中でダンスを1から練習しました。最初は、「ダンスなんてできるわけない。」と思っていたけど、ステージに立ってとても大きな歓声をいただいて、頑張ってきたよかったと思いました。とても思い出に残る、素晴らしい体験をさせていただきました。その他にも、外へ出て、キャンプファイヤーをして、とても楽しい1日が終わりました。

3日目は、9時から12時まで年次大会の終了の会をやり、各自クラブのバスで、ホームステイ先へ戻りました。クラブの友達と別れた後、ジュンスの家に帰り、昼ごはんを食べた後、ジュンスと私を車に乗せてお母さんが山道を登って行きました。そうしたら、遊園地のようなところに着きました。入り口まで歩いていくと、ジュンスの友達2人と同じインターアクトの友達2人が待っていました。挨拶をして、遊具で遊んでから韓国で有名な山に登りました。頂上に着くまで、すごい道でしたが、道のとなりには川が流れていて、とても涼しかったです。後、7時からレイバイクという乗り物に乗りました。レイバイクは日本でいうゴーカートみたいな物でした。乗ったのが7時からだったの

で外は暗く、家の電気の光がとてもきれいで感動しました。そして、8時ごろに迎えに来てもらって、お風呂に入りご飯を食べてからジュンスと私と妹さんと韓国の音楽番組や日本のドラマを見て、12時くらいに寝ました。この日は初めてジュンスのお父さんに会えて、挨拶ができました。

4日目は、9時から日本のインターアクトの皆とバスに乗り、韓国の都市、ソウル市内の見学をしました。有名なお城を観たり、ロッテワールドという所にも行きました。ロッテワールドには、いろいろな乗り物があったり、買い物する所がたくさんあったり、とても楽しい1日でした。

この日は、ホームステイの最終日という事で、ジュンスの親戚のお兄さんも来ていて、いろいろな話をしました。皆でご飯を食べた後、お母さんがハート型のチョコレートケーキを出してくれて、嬉しくて涙が出てしまいました。そして、妹さんがトイカメラを持ってきてくれて、たくさん写真を撮ってくれました。私が1人写っている写真を、妹さんは玄関の壁に貼ってくれました。そこでもまた感動で泣いてしまいました。この日も12時くらいに寝ました。

5日目になり、ジュンスの家族の皆さんとお別れの日が来てしまいました。最初は、不安でいっぱいだった韓国でしたが、ジュンスやジュンスの家族の皆さんのおかげで、5日間がすごく短く感じました。朝ごはんを食べて、帰る準備をしていると、お母さんが私にキャリーケースがぼんぼんになるくらいプレゼントをくれて、とても嬉しかったです。お母さんと妹さんにお別れをしてお父さんの車でジュンスと私は集合場所に向かいました。

集合場所に着いて、お父さんに挨拶をしてジュンスにもお別れの挨拶をいいました。すごく寂しい気持ちでいっぱいになりました。本当の別れをつけて、バスが発しました。そして、3時に空港に着いて、韓国ともお別れをしました。本当に長いようで短かった韓国訪問。私はこの韓国訪問、韓国で出会った方々を一生、忘れません。

#### 年次大会に参加して

岐阜城北高等学校 1年生 藤澤春香

こんにちは

岐阜城北高校の藤澤春香です

私は8/7~8/8の2日間年次大会に参加しました。

1日目は韓国人の踊りや歌を見ました。皆さんとても歌がうまく、日本の曲も歌っていて日本語が上手だと思いました。踊りは結構激しく、テレビで見たことあるグループの曲を踊っていました。衣装は赤やピンクのものが多く韓国の民族衣装でした。とてもかわいくて私も1度着てみたいと思いました。

関宿ウォークラリークイズでは、最初は暑くていやだなーと思っていたけど、クイズの答えを探しながら歩いていたらとても時間が短く感じました。全問正解できなかったのは悔しいけど、関宿のいろんなところを見ることができて楽しかったです。

夕食ではたくさんの学校の人と交流できました。最初は知らない人ばかりで仲良くなれるか不安だったけど、話しかけてくれたので仲良くなることが出来ました。友達が出来てとてもうれしかったです。

2日目のパネルディスカッションでは違う学校の部活動のことを聞いて、ペットボトルのキャップ集めや古着集めなどをしていて、私たちもこれからやっていきたいと思うことがたくさんありました。

私はこの年次大会を通してたくさんの友達ができ、ほかの学校のことを知り、自分たちも見習っていききたいと思うところがたくさんありました。

2日間とてもいい経験をする事が出来たと思います。ありがとうございました。

### 年次大会に参加して

岐阜城北高等学校 1年生 和田紋侑

こんにちは

私は岐阜城北高校の和田紋侑です。私たちは8月7日、8日の2日間インターアクト部の合宿に参加しました。

合宿1日目の思い出は、まず、韓国の踊りや歌を見ました。ステージの上で踊りや歌などを歌ってくれました。踊りでは、韓国の民族衣装を着ていてその衣装はいろんな色があり、明るい色でとても可愛くてきれいでした。

関宿では、東の追分から「こぎき」の街灯を1つずつ探して数えたり、クイズに答えたりなどして亀山市の昔のお皿などをみました。

夕食の交流では、同じ高校の人が近くにいないくて、誰も知らない人たちで、先輩ばかりだったから最初は嫌だなあと思ったけど、実際に交流してみたら、話しかけてくれたりしてうれしかったです。三重県の方言なども聞くことができてやっぱり岐阜とは違うなあと思いました。

2日目は、文化ホールでパネルディスカッションがありました。このときは、他の高校のインターアクト部ではどんな活動をしているのか紹介のような発表がありました。

それは、

- ・ ペットボトルのキャップ集め
- ・ 古着を集めて発展途上国に送る
- ・ 独居老人の家への訪問

などのボランティア活動などでした。みんな色々な活動をしていることがわかりました。交換留学生の話も面白かったです。

私は、この合宿に参加してよかったと思っています。他の高校との交流が出来てすごく楽しかったし、城北高校でやってない・古着集め ・独居老人の家への訪問 などもやっていきたいと思いました。

この2日間すごく楽しかったです。

ありがとうございました。